

---

## 鳴門市で中四国ブロック老人クラブリーダー研修会開催

～予定を大幅に上回る280名が参加～

---



7月5日から2日間にわたり、本県では平成14年度以来10年ぶりとなる「中国四国ブロック老人クラブリーダー研修会」（全老連、県老連共催）が鳴門市のルネッサンスリゾートナルトで開催され、予定を大幅に上回る280名（県外200名、県内79名）が参加しました。

2階「海天」の間において、伊丹副会長の開会宣言で始まった研修会は、まず開会行事を行い、片山県老連会長の歓迎の挨拶に続いて、ご臨席いただいた齋藤副知事（出席が予定されていた飯泉知事の代理）及び泉鳴門市長から激励の祝辞をいただきました（上記の他、多智花県社協副会長臨席）。

開会行事に続いて行われた基調報告では、全国老人クラブ連合会理事である齋藤秀樹事務局長から、「老人クラブ50年－仲間づくりを原点に」と題し、老人クラブの現状や高齢者人口や世帯の推移等、高齢社会の現状、全老連が提唱する「老人クラブ活性化3ヵ年計画（平成22年度～24年度）」の推進状況、社会保障制度の動向などが報告されました。



続いて、4会場に分かれ、当面する課題等（下記参照）について研究討議を行う

分科会に移り、事例発表や熱心な意見交換等が行われました。

第1分科会「健康づくり・介護予防活動の推進」

第2分科会「地域支え合い活動の推進と老人クラブの役割」

第3分科会「若手高齢者の活動実践と加入促進」

第4分科会「高齢者による安心・安全なまちづくりの推進」

なお、第4分科会において、本県から松茂町 坂本京子会長が発表を行いました。

※分科会の詳細については、全体会報告概要（別紙）をご覧ください。



第1日目の研修を終え、旅の疲れと参加者相互の親睦を図る交流会に移りました。次期開催県である島根県老連 安達会長の発声による乾杯でスタートした交流会は、「鯛の姿盛り」や「鯛めし」など鳴門ならではの料理をはじめ、屋台形式で提供される「天ぷら」などを堪能していました。

途中アトラクションとして、2組の出演をいただきました。最初に阿波人形浄瑠璃研究所「青年座」による「寿二人三番叟」で、人形が軽快な曲にあわせてコミカルな動きをするといったもので、一味違った阿波人形浄瑠璃に、参加者も見入っていました。

続いて登場したのは、徳島市老連（会長 細井啓造）が結成した連による「阿波踊り」（で、踊りから鳴り物（三味線、太鼓、笛、鉦）まで、すべてを会員が行うこれまでになかった連の演技に、会場も大いに盛り上がり、参加者も一緒になって踊りを堪能しました。



研修二日目は、参加者全員による「いきいきクラブ体操」でスタート、北島町老人クラブ連合会女性部（田代会長他4名）が、お揃いの赤いTシャツ（うずしおの文字入）で模範演技を行いました。

記念講演は、美馬市木屋平地区でNPO法人理事長を務める阿部義則氏から「地域の協働と共創で住み続ける地域づくり」と題して講演、過疎地において法人が取り組む、交通弱者や生活弱者の支援の他、地域の再生に向けた各種事業を紹介されました。同様の課題を持つ地区も多く、会場からの質問が相次ぎました。



研修会の最後に行われた全体会は、本県片山会長及び島根県安達会長による議長団の進行で行われ、各分科会で座長を務めた、本県の岩佐理事、伊丹副会長、細井副会長、小野寺理事からそれぞれの概要について報告、会場からは、若手委員会の認知度が低く、全老連での広報を要望する意見等が出されました。

二日間にわたる全ての日程を終え、次期開催県である島根県老連安達会長の挨拶に続き、本県片山会長からお礼のことばが述べられ、宇山副会長による閉会宣言で研修会を終了し、各参加者は帰路に就きました。

なお、本研修会の協力員として、受付や会場における各種サポートをいただきました、鳴門市老人クラブ連合会（会長 山内 節）若手委員会（委員長 藤村松男）の皆さん、また全体会（開会行事、全体会）の司会を務めた、県老連若手委員会の糸林委員長（徳島市）及び川下委員（小松島市）の両名をはじめ、各分科会で幹事を務めた4名の若手委員（白浜委員（阿南市）、大平委員（神山町）、大島委員（阿波市）、後藤田委員（吉野川市））には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 分科会担当者一覧

	第1分科会 「健康づくり・介護予防活動の推進」	第2分科会 「地域支え合い活動の推進と老人クラブの役割」	第3分科会 「若手高齢者の活動実践と加入促進」	第4分科会 「高齢者による安心・安全なまちづくりの推進」
会場	1階「青風『雅』」	1階「青風『華』」	2階「波路」	8階「マジイルーム」
事例発表者	①香川県 小豆島町老連 副会長 西原 正明 ②高知県 土佐清水市斧積老ク 会長 弘田 浩三 ③広島県 三次市老連河内支部 副会長 阿賀 俊彦	①岡山県 真庭市老連 会長 小林寿満夫 ②広島市 翠町学区老連 会長 下野 至誠 ③山口県 周南市老連鹿野支部 支部長 山崎 武夫	①島根県 出雲市高連 会長 春日 稔 ②鳥取県 伯耆町老連若手委員会 委員長 加川 重之	①愛媛県 松山市山越八千代会 会長 小黒 聰 ②徳島県 松茂町長寿会 会長 坂本 京子
座長	島根県老連 会長 安達 伸次 徳島県老連 理事 岩佐 徹	香川県老連 常務理事 坂部 輝昭 徳島県老連 副会長 伊丹 一夫	愛媛県老連 副会長 高岡小夜子 徳島県老連 副会長 細井 啓造	南国市老連 会長 山本 俊暢 徳島県老連 理事 小野寺郊恵
助言者	山口県老連 副会長 石川 啓 鳥取県老連 副会長 門脇 眞澄	広島県老連 理事長 鈴木 孝雄 鳴門市長寿介護課 副課長 乾 万里子	岡山県老連 副会長 中西 俊博 鳴門市老連 若手委員長 藤村 松男	広島市老連 会長 橋本 直生 徳島県安全衛生課 室長補佐 北野 晴久
幹事	徳島県老連若手委員会 副委員長 白浜 和生	徳島県老連若手委員会 委員 大平 肇	徳島県老連若手委員会 委員 大島 博	徳島県老連若手委員会 副委員長 後藤田忠雄
記録	北島町社協 塩津美恵子	三好市社協 宮内 秀薫	阿波市福祉事務所 清田美恵子	上板町社協 上田 恵美

## 分科会 (全体会報告)

第1分科会	<p>テーマ「健康づくり・介護予防活動の推進」</p> <p>(発表)・サロン(たまり場)における健康づくり(講演や体操等)を行い、他クラブへ波及した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎高齢化が進む中「元気村づくり」に取り組み、サロン(元気ひろば)における活動を通じて、気力・体力が若返った</li> <li>・地域の子どもたちとの世代間交流を中心に活動、大きな楽しみとあって、健康・生きがいづくりにもつながっている</li> </ul> <p>(助言者)・笑顔や元気が出る活動となっている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動の素晴らしさが出ている。</li> </ul>
第2分科会	<p>テーマ「地域支え合い活動の推進と老人クラブの役割」</p> <p>(発表)・地域での老人クラブの役割を各種事業に関連付け、質を高めるための事業(料理教室)を展開、友愛訪問により不参加者にも対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協の補助金を活用した、サロンの展開(地域の中の“茶の間”づくり)</li> <li>・孤立化解消のためのマップづくり(地図上で要配慮者を把握、見守りの情報を共有化)</li> </ul> <p>(助言者)・地域の現状をよく分析し、必要な活動が必要な人へ施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に参加できない(しない)人への対応としての成功例</li> </ul>
第3分科会	<p>テーマ「若手高齢者の活動実践と加入促進」</p> <p>(発表)・単位クラブの活動が原点であり、高齢会員と若手のバランスのとれた組織づくりが必要、毎月発行する機関誌による広報や、90歳でも参加できる事業の企画等も大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手委員会による各種事業のサポートにより、例年以上の盛り上がりを見せるなど、活性化に効果的である</li> </ul> <p>(助言者)・月1回の広報紙発行は非常に効果的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の発足に対し、丁寧な手順を踏んで取り組み、高齢役員の理解①を得ている。</li> </ul>
第4分科会	<p>テーマ「高齢者による安心・安全なまちづくりの推進」</p> <p>(発表)・「交通事故にあわない、起こさない」をテーマに、交通茶屋をはじめ街頭等へも積極的に参加し、クラブ内の事故は皆無である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と行う交通安全教室で、高齢者が模範になっている。また防災に対する心構えとして、各機関との連携や自分で逃げられない人の訓練が大切、繰り返し行うことで行動が伴う</li> </ul> <p>(助言者)・地域の安心・安全を考える中で、「手をかける」「目をかける」「声をかける」高齢者による心掛けは重要</p>